

令和2年度 長野県日本語教育大会

テーマは「日本語交流員」と「地域日本語教育」

長野県では、地域の日本語教室が多文化共生の拠点となることで、外国人県民の地域における活躍の促進を目指しています。

そんな日本語教室において、日本語学習の支援と地域とのつながりのサポートを担う存在を「日本語交流員」とし、平成30年度から養成を進めてきました。

日本語交流員が実際にどのような活動をしているのか、またこれからの地域日本語教育に求められるものは何なのか、多様な立場の方々からお話をうかがいます。

プログラム

10:00～10:10

開会

長野県日本語交流員養成事業の説明

10:10～10:35

基調講演

武蔵野大学グローバル学部日本語コミュニケーション学科

准教授 神吉 宇一 氏

2021年

2月24日(水)

10:00 から

Zoomウェビナー

神吉 宇一 (かみよし うち)

九州・小倉出身。社会人のキャリアを小学校教員から始め、正規非正規30以上の職を経て2013年から大学教員に。

2016年4月より現職。

日本語教育学会副会長、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会委員、文化庁委嘱地域日本語教育アドバイザーを始め、委員等多数。長野県日本語交流員養成事業に事業当初から運営委員、研修講師等として携わる。主な著書に『Education Abroad: Bridging Scholarship and Practice』(2020 Routledge、共著)他多数。



10:35～10:55

事例発表

駒ヶ根市総務部企画振興課 課長補佐兼地域振興係長 福澤 修氏
地球人ネットワークinこまがね 高森 アナ氏、藤井 佳代氏

～休憩～

11:00～12:00

パネルディスカッション

神吉 宇一氏、福澤 修氏、高森 アナ氏、藤井 佳代氏
加納 けい子氏、美甘 直子氏、佐藤 佳子氏

出演者のプロフィールは裏面をご覧ください

お申込みはこちらから

2021年2月17日(水)まで

次のURLまたはQRコードから申込書の画面にアクセスし、お申込みください。後日、登録いただいたメールアドレスに当日のURL等を連絡をさせていただきます。



https://s-kantan.jp/pref-nagano-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=10961

プロフィール



ふくざわ おさむ
福澤 修

駒ヶ根市役所総務部企画振興課
課長補佐(兼)地域振興係長
係担当業務として、多文化共生、
国際交流、JICA海外協力隊連携、
地方創生の生涯活躍のまちの推
進などに取り組む。

行政



たかもり あな
高森 アナ

「地球人ネットワークinこまがね」
で会長を務める。
ペルー出身。29年前に来日。
結婚してから駒ヶ根に住んでいる。
子どもが2人。

教室運営 &
日本語交流員



ふじい かよ
藤井 佳代

「地球人ネットワークinこまがね」
で事務局を務める。
日本語教室ボランティア、交流イベ
ント、生活情報の学習など、楽しみ
ながら参加している。

教室運営 &
日本語交流員



かのう けいこ
加納 けい子

長崎県出身。
1996年結婚を機に東南アジアで暮ら
し、2018年に帰国。
海外経験を活かし、在住外国人の支
援をしたい思いで交流員研修に参加。

日本語交流員



みかも なおこ
美甘 直子

日本語ボランティア6年目。
2019年日本語交流員研修修了、
2020年より日本語教師としても活
動。地域の日本語教室に幅広く取り
組みたい。

日本語交流員
& 日本語教師



さとう よしこ
佐藤 佳子

長野県「日本語学習の総合的な
支援体制づくり推進事業」総括コー
ディネーター及び地域日本語教育
コーディネーター。県内専門学校や
EPA介護福祉士候補者日本語研修で
も講師を務める。

コーディネーター
& 日本語教師



かみよし うち
神吉 宇一

武蔵野大学グローバル学部日本語コ
ミュニケーション学科 准教授。日
本語教育学会副会長、文化審議会国
語分科会日本語教育小委員会委員、
文化庁委嘱地域日本語教育アドバイ
ザーを始め、委員等多数。

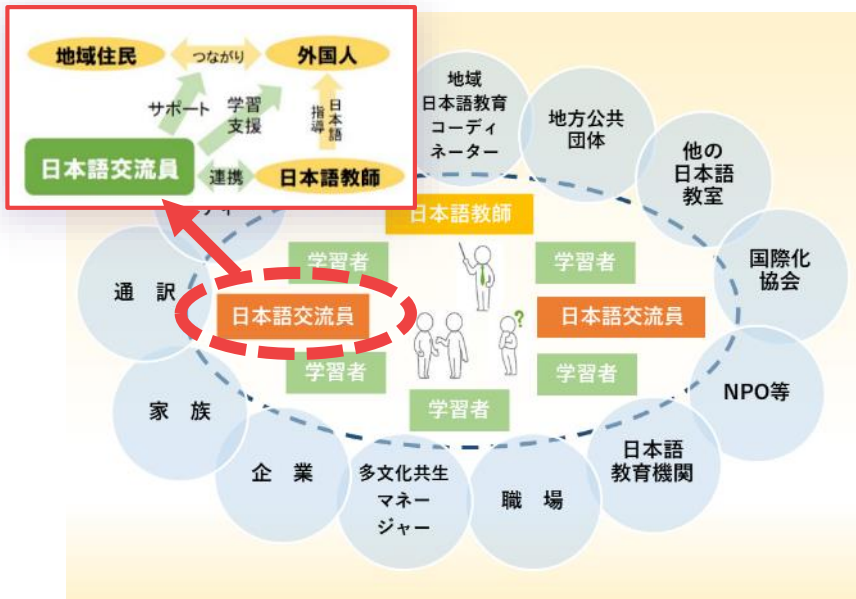
事業運営委員
研修講師 等

多様な出演者による大会に
ぜひ参加ください



長野県PRキャラクター『アルマ』
©長野県アルマ

長野県日本語交流員養成事業について



2018 (H30) 年度から、文化庁の「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」を受託し、「日本語交流員」の養成を進めている。
日本語交流員は長野県が目指す「地域日本語教室を多文化共生の拠点とした地域づくり」の担い手として、外国人の日本語学習及び外国人と地域のつながりをサポートする存在。
これまでに県内各地(長野・松本・上田・伊那・駒ヶ根)で117名が全5回の養成研修を修了し、日本語交流員となった。

日本語教室では・・・

外国人の発話を促す存在として日本語学習の定着を支援するとともに地域について伝えてもらう

地域では・・・

外国人の身近な存在として地域の外国人と積極的に関わり、地域コミュニティや日本語学習の場と外国人のつなぎ役を担い外国人の活躍をサポート

この事業は、文化庁「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」を長野県が受託し実施するものです。

【問合せ先】

長野県県民文化部文化政策課多文化共生・パスポート室

TEL 026-235-7173

E-mail tabunka-c@pref.nagano.lg.jp